

e-timing EVIDENCE 3161 for PDF Auto ～アマノタイムスタンプサービス3161～

PDFデータにタイムスタンプを付与することで、
“存在証明”と“完全性証明”を実現します！



総務省認定
時刻認証業務 ※1

※1: アマノタイムスタンプサービス3161は、「時刻認証業務の認定に関する規程(令和3年総務省告示第146号)」による認定制度の認定を取得しており、総務大臣による認定事業者はアマノ株式会社となります。

こんなことでお困りではありませんか？

電子化されたネットワーク社会の中で必要とされるのは、「いつ・誰が・何を」を改ざんされないようなデータとして運用することだといわれています。「誰が・何を」というのは電子署名などを使って解決することができますが、PCの時刻は容易に変更が行えるため「いつ」を第三者に証明することは非常に困難です。またPDFデータにおけるパスワードを付与した場合でも、クラッシュソフト等で簡単に変更することが出来てしまいます。では、どのようにして証明すれば良いのでしょうか？



「アマノタイムスタンプサービス3161」を利用すれば…

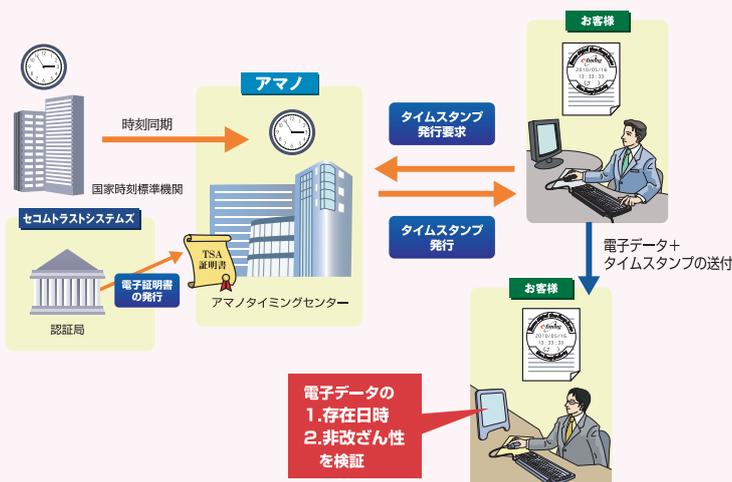
存在証明

タイムスタンプが付与された時刻にデータが存在していたことの証明ができます。

完全性証明

タイムスタンプが付与された時刻以降、そのデータが改ざんされていないことの証明ができます。

サービスのしくみ



「e-timing EVIDENCE 3161 for PDF Auto」の利用例

知的財産関係文書 (先使用权・証拠性確保)

認定取得のタイムスタンプ付与が推奨されている

内部統制における 電子データの真正性確保

客観的な証明が可能に！

電子契約における利用

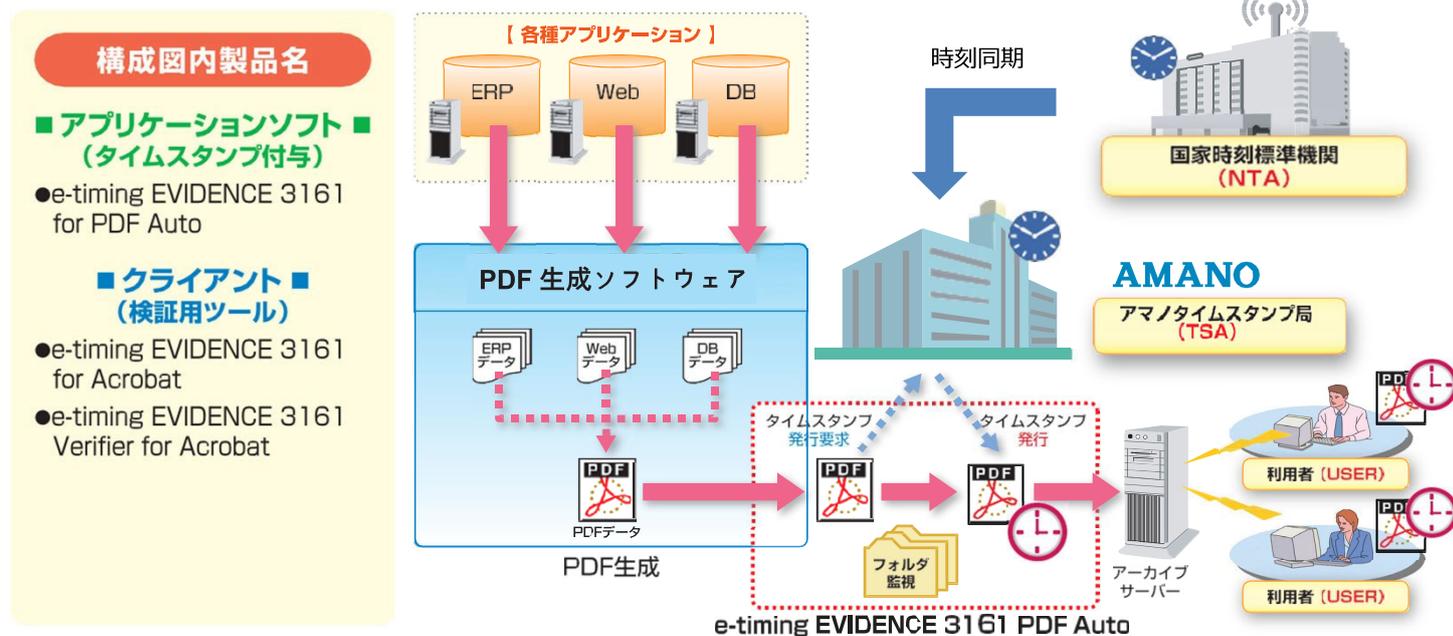
取引先との契約業務における真正性確保のため

各種システムとの連携実装

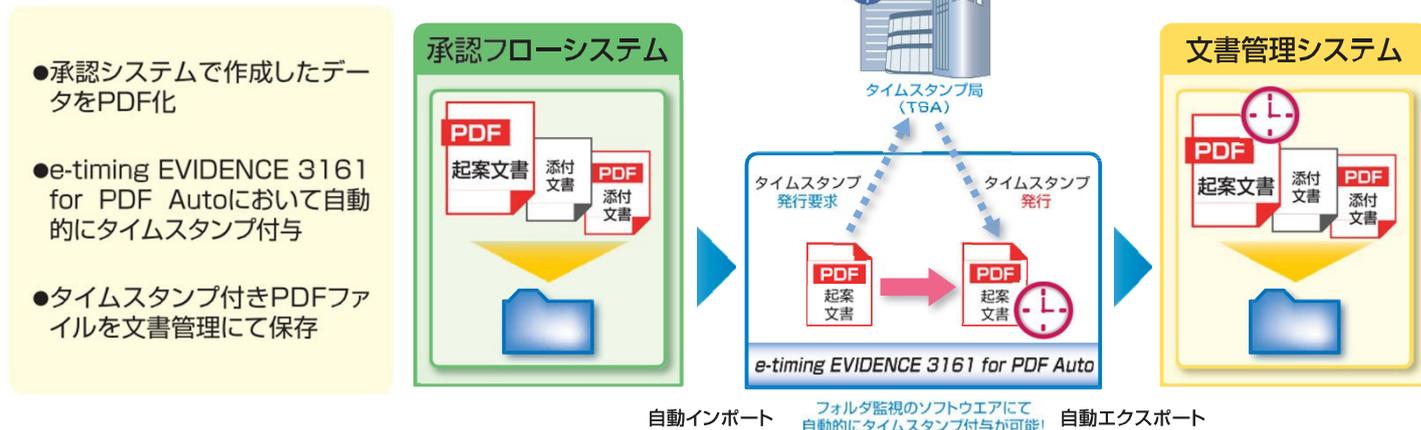
各メーカーが提供するシステムと組み合わせてセキュリティアップ

※この他にもセキュリティを高めたい、安心して外部にデータを送りたい、データが存在していたことを証明したい等の用途でご利用いただけます。

■システム構成 (e-timing EVIDENCE 3161 for PDF Auto利用イメージ)



■他社製品との連携イメージ (フローシステムと文書管理システムとの連携)



使いやすい新機能

- Windowsサービス稼働
Windowsのサービスとして動作
- エラー通知
エラー発生時にメール通知/イベントログ出力可能

◆ 動作環境

●Microsoft Windows 10(32bit/64bit)/11 ●Microsoft Windows Server 2016/2019/2022 ●Microsoft.NET Framework 4.5.2/4.6/4.7/4.8/4.8.1
インターネットに接続されている環境が必要です。

◆ 初期導入費用

ソフトウェア費用 : ¥180,000/1CPU(税別)
年間ソフトウェア保守料 : ¥27,000/1CPU(税別) ※2
アカウント発行料 : ¥6,000/ライセンス(税別)
※2: 初年度より毎年発生します。

◆ ランニング費用 (月々)

タイムスタンプサービス費用 : ¥8,000/1,000スタンプ(税別)
タイムスタンプ超過分費用 : ¥8/スタンプ(税別)
アカウント管理料 : ¥500/アカウント(税別)
※ 固定料金を希望される場合には別途ご相談下さい。

※このカタログで使用されている製品の写真是、サービス開始のものの一部異なる場合があります。また、仕様及び記載内容は事前の予告なしに変更することがあります。
※Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
※その他、記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
※本資料に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、(R))を付記していません。

製品提供元

アマノセキュアジャパン株式会社

〒222-0011 横浜市港北区菊名7丁目3番24号
TEL.045-430-1955 FAX.045-430-1957
https://www.e-timing.ne.jp/

問い合わせ先

Blank area for contact information.